

阪神支部23春闘学習決起集会 今こそ労働組合の正念場 賃上げの重要性を拡げよう



2023. 3. 24
NO. 665号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
06-6574-8424
078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます

3月4日、神戸ポートオアシスにて阪神支部23春闘学習決起集会を開催しました。



石川康宏名誉教授

講師には神戸女学院大学の石川康宏名誉教授をお招きし「今こそ労働組合の正念場、賃上げの重要性を拡げよう」をテーマに講演がはじまりました。

戦争が起るとどうなる？

まず、「戦争が起ったときにどうなるかを理解しておくことが重要である」とし、「80年前の戦争時のように飛行機が飛んできて爆弾を落とすようなことは現在ではありえない。音速を超えるミサイルが集団で飛んでくる。そうなるのであれば避けようがない。ミサイルがどこに飛んでくるかというとまず是在日米軍基地。それと在日米軍が物資を自衛隊の各基地に移動することをはじめているので、日本中の自衛隊基

地が標的になる。そうなる和我われができることは戦争が起きないように祈ることしかない」と解説されました。

賃上げについて

続いて賃上げについて、「高度経済成長の時には給料は必ず上がり続けていた。一番上がったときは1974年で、日本中の全労働者平均でその年だけで30パーセントも上がった。その時が日本で過去最大の賃上げだった。給料が上がって続けたから生活がどんどん改善されていった。

なぜそんなに給料が上がったのかというと、いろいろな要因があるが一番はストライキ。労働組合がたたかって経営者から譲歩を勝ち取ってきた。74年にはストライキの総件数は5,000件を超え、参加した労働者は350万人を超えていた。ストライキをするのが当たり前だったのが日本の戦後の姿だった。それが74年をピークにあつという間になくなっていく」と話されました。

なぜ不況に突入したのか？

その理由として「高度経済成長が終わり、75年から戦後最悪と言われた不況になっていった。なぜストライキがなくなっただかという

それは当時の労働組合の弱さにある。当時は全労連や連合もなく、日本労働総評会という組織がナショナルセンターの中心であった。総評は働けるだけ働いて給料を上げようという考えだった」と説明されました。

運動論の問題

最後に運動論の問題について「先輩の背中を見て学ぼうという考え方だけではいけない。いまの時代を切り開くには新しい運動論が必要である。

昨年末には全労連がアメリカの労働組合の運動家を招いて学習会をした。アメリカの労働組合運動はこの間ずっと抑え込まれていた。しかし、いよいよ生活が苦しいとなった時にたまたかう労働者のグループが立ち上がり、新しい手法で仲間を増やし、半分以上の州が大幅な賃上げを勝ち取った」と具体的なオールの例を上げて説明されました。



久保田書記長

その後久保田書記長より行動提起がされ、必要最低



44名の分会参加者が会場に集った

生計費調査について「25才の単身者で1カ月生活するのにいくらかかるか」というと、大阪府で244,950円必要であり、時給換算すると1,633円必要という結果が出た」との報告があり、「したがって現在の大阪の最低賃金1,023円、兵庫県の最低賃金960円では到底生活できない」と、今すぐにも最賃を大幅に引き上げることの重要性を説きました。

また「数多くの物価が上がっている中、今春闘は例年よりも大事な春闘になる。全分会が本気を出して納得できる賃上げを勝ち取る」と締めくくりました。

最後に池口執行委員による団結ガンバローで散会となりました。

執行委員 河本 英博



一代で松下電器（現パナソニック）を築いた経営者、松下幸之助さんは政治家の育成に力を注いだ。PHP研究所を設立し、倫理教育への提言も続けた。残した言葉がある。「国民が政治を嘲笑している間は、嘲笑に値する政治しか行われない」◆昨年7月の参院選で初当選しながら、一度も登壇せずに欠席を続けているNHK党のガシー議員である◆自著によると、若い頃から芸能人との交友が広く「芸能界の裏側」を暴露するユーチューバーとして人気を集めた。主な公約は「さらなる暴露で芸能界の闇を晴らす」。1票を投じた人は何かを期待したのだろうか。根っこに政治への嘲笑が見え隠れする◆著名人への脅迫などの容疑で警視庁から事情聴取を要請されているガシー議員は、予定されていた「議場での陳謝」も拒んだ。予想通りとはいえず、むなしさが募る◆NHK党の党首は辞任し、党名を「政治家女子48党」に変更するとう。次々に目先を転じ、新たな関心呼び込む。失敗をうやむやにする。嘲笑政治、ここに極まる◆嘲笑とはあざけり笑うこと。社会の成長を信じた松下さんが最も嫌った。

関西地本23春闘要求提出

適正な料金収受を行い

大幅賃上げを！

2月27日にアートホテル大阪ベイタワーにて関西地本第一回集団統一交渉（要求提出）がマスク着用、アルコール消毒設置、抗原検査キットによる検査等、コロナ感染症対策を講じての開催となりました。



畠山地本委員長

はじめに畠山委員長より、「労働者不足の港湾・運輸業界だが、解消するためにも魅力のある賃金へ改善する事が最も重要である。また、岸田首相が言うようにインフレ率を上回る賃金の改善が図られるように」と真摯で誠意ある交渉を求めました。また、国土交通省並びにトラック協会が発行した「標準的な運賃」のパンフレットを元に、運輸業界の現状について話されました。

そして、「荷主、ユーザ一、元請けから賃上げ原資を確保する適正料金の改定、収受をしていただき、今春闘は歴史的物価高の中始まりました。昨年の4月以降、消費者物価上昇率が高まる一方で賃金の伸び幅は小さく、実質賃金はマ

今春闘の大幅賃上げが図られるよう、また、運輸業界だけではなく港運事業者は昨年の中央港湾団交にてパートナーシップに基づく労働者の賃上げの原資は確保しておくことと断言していたので理解はしていると思うが念を押しておく」と賃上げを強く求めました。



樋口書記長

続いて樋口書記長より全港湾中央本部の要求額として3万円以上の引き上げと関西地本の統一要求の趣旨説明が行われました。また、各支部より要求の趣旨説明があり、樋口書記長より「今年の春闘は本気でいくので、各店社よく考えた数字を出していただきたい」と述べられ、団体交渉を終えていきました。

今春闘は歴史的物価高の中始まりました。昨年の4月以降、消費者物価上昇率が高まる一方で賃金の伸び幅は小さく、実質賃金はマ

イナスが続いています。労働者の生活を守るためには大幅賃上げが必要です。また、適正な料金収受をすることにより、労働者の労働を守ることもにも繋がります。今こそ労働者同士が手を取り、集まってともに声を上げましょう。

執行委員 山本 英生

例年、春闘時に行っていた支部独自の行動である「見える・聞こえる」春闘宣伝行動ですが、コロナ禍の活動再開となりました。

元町駅頭でのビラ配りとアピール行動



ブロック会議でビラとティッシュをセット

第一回は2月27日の早朝、神戸地区はJR元町駅東口と西口の駅頭、三ノ宮マルイ前、神戸市役所前の4カ所、大阪は大阪駅前、南港ATC前の2カ所に行いました。

コロナの影響もあり、マスク姿の往来が多い中での活動となりました

が以前と同じように受け取ってもらいました。今春闘は歴史的物価高の中、スタートとなりました。この数十年で大企業の経常利益と配当は増加して

なダメージを与えています。今こそ労働組合に集結し、企業に向けて一人一人が声を上げ、ベースアップを

「見える・聞こえる」春闘の活動再開となりました。

ということもあり中断して

の活動再開となりました。

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

春闘早期宣伝行動

「見える・聞こえる」

3年ぶりに復活

イナスが続いています。労働者の生活を守るためには大幅賃上げが必要です。また、適正な料金収受をすることにより、労働者の労働を守ることもにも繋がります。今こそ労働者同士が手を取り、集まってともに声を上げましょう。



春闘勝利に向け団結ガンバロー

宣伝カー運行による

春闘宣伝行動

コロナ禍で春闘宣伝行動のビラ配りが2021年から2年間で中止となっていました。その間にビラ配りの代わりとして宣伝カーによる大阪・神戸の港頭地区での流し宣伝を行う事となりました。

今年3年ぶりにビラ配りも再開されましたが、物価上昇により実質賃金は大幅に下がり、大幅賃上げを勝ち取らなくては生活が困窮するばかりです。

23春闘はそういった状況の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

りも再開されましたが、物価上昇により実質賃金は大幅に下がり、大幅賃上げを勝ち取らなくては生活が困窮するばかりです。

23春闘はそういった状況の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

の周知のため、これまで4

2023年権利討論集会

労働者が主役の時代へ

2月18日、2023年権利討論集会がエル・おおさかに開催され、阪神支部から11名が参加しました。午前の記念講演では、北海道大学経済学部助教授の川村雅則教授が「労働者が主役の時代へ〜カギは『無期雇用の実現』、『団結』にある」というテーマで講演されました。

川村教授は、非正規労働・非正規公務員、官製ワーキングプアや公契約条例、規制緩和と交通労働者の権利など多岐にわたり研究されており、若者の労働教育にも力を注がれています。講演では、「2013年の労働契約法改正で有期労働組合の「団結」の必要性を強く訴えまし

車運転者の労働時間等の改善のための基準)③労災認定に対する事業主の不服申立制度導入問題を学び、いのちと健康を守るために何ができるかについて討論しました。

24年4月から施工される改正改善基準告示について、トラックドライバーの過労死事件を担当された中西翔太郎弁護士からは、長距離トラックドライバーの過酷な労働実態が報告され「今回の改正ではまだまだ不十分で、交通事故と隣り合わせで常に緊張を強いられるという運転業務の質的過重性を考慮しておらず、時間外労働の上限が多くても月60時間程度としなければ過労死ゼロ達成はできない」と話されました。

そして、松丸弁護士からは、労災認定に対する事業主の不服申立制度導入問題について「事業主が労災保険料認定決定に不服を申し立てる際に、労災保険支給決定(労災認定決定)における支給要件該当性を争えるようにするという制度の導入の検討が進められている。東京高裁は、労災保険の支給決定に対し、事業主による異議申し立てを認める判決を下した。労災認定

自体高いハードルであるにもかかわらず、認定取り消しなどあつてはならない。この判決を絶対に確定させてはならない」と話されました。

この集會に参加して、労働法の改悪や規制緩和が進められる中、労働者本位の労働政策実現に向けて、さらに運動を強化していかなければならないと感じました。

「公」が行うべき「義務II 住民サービス」を崩壊させ、すべての生活を住民任せ(自助・共助)としてきたことから、私たちの生活は困窮を極めてきました。

学校など教育環境においても「3年連続で定員に満たなければ再編整備する」とした一方的な規定を定め、今年度を含めて大阪では16校が廃校とされます。

子供たちの「学ぶ権利」を保障する公立高校を定員割れを理由につぶすなど到底認められません。国の将来を担う子供たちの健全な成長を考えると、誰もが求めることは、一人ひとりに行き届いた教育を保障することです。

また、コロナ対策では2014年以降、医療や保健所体制を縮小・削減してきたことから、多くの感染者と助かるはずの命を守れない状況を生み、たくさんの犠牲者を出すこととなりました。特に大阪では医療崩壊が繰り返されるなか、国が進める「地域医療構想」を強化し2020年以降、急性期病床を500床以上も削減し、今年度では900以上の病床を削減する計画としています。

医療崩壊が繰り返される異常な政策が続いてきましたが、それを反省し改善させるどころか吉村・松井の維新の会は、私たち港で働

「大幅賃上げを目指す粘り強い春闘」と 「住民本位の政治に転換させる、 統一地方選挙」

書記次長 廣渡 信次

日常生活必需品の値上げの加速が止まらず、家計への負担は増すばかりで節約だけでは乗り切れない状況となっています。

今年だけでも食品値上げは1万4451品目と昨年同期比の3倍のペースで増え続け、8月には2万品目に達するとされています。

総務省が公表した一月の消費者物価指数は、前年同月比で4.3%増と17カ月連続の上昇となりました。

ただ政府が実施した電気・都市ガス料金の負担軽減策の効果が2月請求分から反映されたことで縮小するとの見方がされていますが、物価の上昇圧力は依然根強い状態が続きます。

そして今、真つただ中にある賃上げのカギを握る春

闘では、ほとんどの産業で3月15日に集中回答日を迎えます。多くの大企業が賃上げ要求に応じる姿勢をみせ、満額回答する企業も出ていますが、肝心なことは賃上げの流れが中小零細企業にも大きく波及し、①大幅賃上げ②購買意欲の向上③資金の好循環の経済発展サイクルが国全体で起きるかどうかがです。

大企業の経営者らが、消費刺激の起点となる賃上げを躊躇することはもはや許されません。

労働者全てが注目する春闘期間と同時に、生活すべてに影響を与える地方政治の方向性が示される統一地方選挙が4月9日・23日の両日で行われます。

これまでの維新政治は

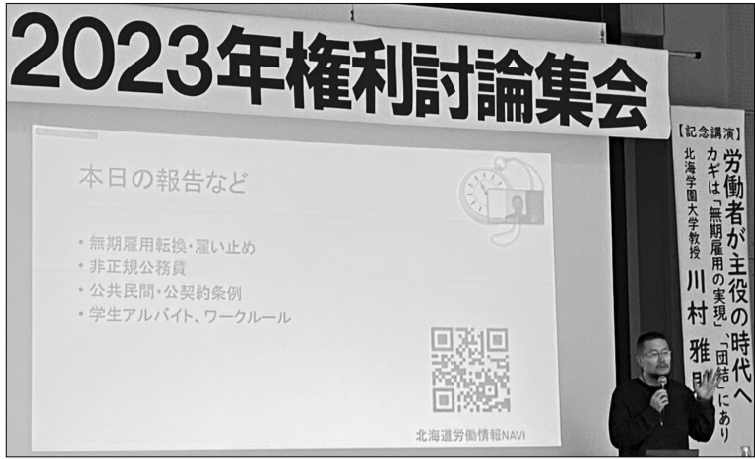
く港湾労働者の重要な職域である夢洲にカジノを誘致しようとしています。昨年、是非を問う住民投票の実施を求めて提出された21万筆もの署名を無視し、国への申請を強行し、さらには「税金は一切使わない」とした約束を反故にして、土地改良に790億円の税金を投入するとなりました。

費用の問題ではカジノ業者に、年間15億円、全体で500億円も土地使用料を値引きする談合疑惑も明らかになっていきます。問題だらけのカジノ計画は撤回しかありませんし、私たちの職場である港は、平和で安心して衣食住に係る生活物資を運び送る環境でなければなりません。

維新府政の10年余り、いま必要なのは厳しさを増す住民生活を支える施策と、経済の中心を担う中小企業の経営支援策を拡充させ、住民の懐をあたため、経済を回復させることです。

これまで大阪・兵庫で勢力を拡大した、住民サービスを破壊させ、住民の間に「分断と対立」を作ってきた維新政治を、今こそ民意の力で打破し、住みよい大阪・兵庫に転換させるため改めて「政治を変えるには、まず地方から」を考え、4月9日・23日には確実に投票に行きましょう。

書記長 久保田 稔



川村雅則教授による記念公演

午後からはそれぞれのテーマでの分科会が開催され、第3分科会では「いのちと健康を守る」をテーマとして、①労災認定上の労働時間概念についての理解を深める②改定される改善基準告示(自動

田さんからは、タクシーや観光バスのドライバーの勤務実態が報告され「今回の改正は誰のための何のためか。最低でも11時間は必要と訴え続けてきたが、結果は9時間となった。睡眠不足による注意力低下に起因する死亡事故が何度も起きており、あと何人亡くなれば行政はわかってくれるのか。事故を無くすためにも最低8時間は眠りたいという労働者の願いを訴え続けなければならぬ」と話されました。

ある賃上げのカギを握る春

闘では、ほとんどの産業で3月15日に集中回答日を迎えます。多くの大企業が賃上げ要求に応じる姿勢をみせ、満額回答する企業も出ていますが、肝心なことは賃上げの流れが中小零細企業にも大きく波及し、①大幅賃上げ②購買意欲の向上③資金の好循環の経済発展サイクルが国全体で起きるかどうかがです。

大企業の経営者らが、消費刺激の起点となる賃上げを躊躇することはもはや許されません。

労働者全てが注目する春闘期間と同時に、生活すべてに影響を与える地方政治の方向性が示される統一地方選挙が4月9日・23日の両日で行われます。

これまでの維新政治は

く港湾労働者の重要な職域である夢洲にカジノを誘致しようとしています。昨年、是非を問う住民投票の実施を求めて提出された21万筆もの署名を無視し、国への申請を強行し、さらには「税金は一切使わない」とした約束を反故にして、土地改良に790億円の税金を投入するとなりました。

費用の問題ではカジノ業者に、年間15億円、全体で500億円も土地使用料を値引きする談合疑惑も明らかになっていきます。問題だらけのカジノ計画は撤回しかありませんし、私たちの職場である港は、平和で安心して衣食住に係る生活物資を運び送る環境でなければなりません。

維新府政の10年余り、いま必要なのは厳しさを増す住民生活を支える施策と、経済の中心を担う中小企業の経営支援策を拡充させ、住民の懐をあたため、経済を回復させることです。

これまで大阪・兵庫で勢力を拡大した、住民サービスを破壊させ、住民の間に「分断と対立」を作ってきた維新政治を、今こそ民意の力で打破し、住みよい大阪・兵庫に転換させるため改めて「政治を変えるには、まず地方から」を考え、4月9日・23日には確実に投票に行きましょう。

書記長 久保田 稔

